

令和2年度 北陸地方整備局

第1回事業評価監視委員会 議事録（概要）

1. 日 時：令和2年9月8日（火） 10:00～12:00
2. 場 所：3会場におけるTV会議方式にて実施
〔新潟会場〕北陸地方整備局 4階 共用会議室
〔富山会場〕富山河川国道事務所 3階 大会議室
〔石川会場〕金沢河川国道事務所 2階 会議室
3. 出席者：委 員）阿部委員長、権田委員、飯野委員、菊野委員、小林委員、高原委員、
林委員、龍委員
整備局）局長、次長、総務部長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾空港部長、
営繕部長、用地部長、統括防災官
事務所）長岡国道事務所長、高田河川国道事務所長、金沢港湾・空港整備事務所長、
金沢河川国道事務所長、伏木富山港湾事務所長、富山河川国道事務所長、
利賀ダム工事事務所長

4. 審 議

(1) 再評価

<重点審議>

1) 港湾事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

○金沢港大野地区国際物流ターミナル整備事業

■意見

- ・挙げられている中で一番大きな効果が、輸送コストの削減であるが、ヒアリングにおける予想のようなものであるため、今後、信頼度も踏まえながら効果を見積るよう検討すべき。

<重点審議>

2) 港湾事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

○伏木富山港伏木地区国際物流ターミナル整備事業

■意見

- ・事業の効果の一つである、貨物需要の推計が増加傾向となることについては、多様な視点からデータ等を確認のうえ、示されたものであることを理解した。

<一括審議>

3) 砂防事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

○手取川水系直轄砂防事業

■意見

・現在の整備状況では未だ被害は大きく、残りの整備を進めることが被害を防ぐために大変効果的であると理解した。

<一括審議>

4) 道路事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

○一般国道8号 入善黒部バイパス

○一般国道17号 浦佐バイパス【防】

○一般国道18号 上新バイパス

■意見

・防災面の効果が特に大きい事業については、防災面の効果をわかりやすく資料内にお示しいただきたい。

(2) 報告

ダム事業・河川事業の報告

○利賀ダム建設事業

○庄川直轄河川改修事業

以 上